

農学生命科学部

第15回 研究推進セミナー

【第28回 発生・生殖生物学研究室コロキウム 共催】

【新学術領域研究 配偶子産生制御 共催】

生殖細胞と多能性幹細胞の違いを制御する分子機構

演者：松居 靖久 先生

東北大学

加齢医学研究所・教授

日時：平成29年 2月 9日（木）

17:40～19:10

場所：農学生命科学部402講義室



どんな細胞にも分化できるが、個体を生み出すことはできない多能性幹細胞と、精子か卵子にしか分化しないが、それらが受精すると個体を作りだすことができる生殖細胞は、似ているところがありますが、それらが厳密に隔てられていることにより、正常な胚発生が保障され、腫瘍ができることが抑制されています。今回のセミナーでは、生殖細胞と多能性幹細胞の、代謝状態とエピジェネティック状態の変化の制御により、両者の間の変化が制御されている可能性について、最近のわたしたちの研究結果をお話しし、生殖細胞と多能性幹細胞は、何が同じで何が違うのかを考えてみたいと思います。

主催：農学生命科学部生物学科 発生・生殖生物学研究室

小林一也（内線3587 kobkyram@hirosaki-u.ac.jp）

共催：研究推進委員会 学部後援会